

団体（清瀬市）

清瀬市中里 3-892-7

JA 東京みらい

きよせ施設園芸研究会



1 主な販売品目

農産物名	希望取引時期
ハウレンソウ	通年
コカブ	4月上旬～7月下旬、9月上旬～1月下旬
ミズナ	通年

2 販売場所

・自宅販売所 ・市場出荷 ・みらい清瀬新鮮館（JA 東京みらい）・スーパー

3 活動内容

（1）清瀬と農業

武蔵野台地の北に位置する清瀬市は、農地が216ヘクタールあり、市の2割を占めます。その87%が生産緑地に指定されています。黒土が深く根菜類の栽培に適しており、特にニンジンが都内の出荷額の半分以上を占めています。

（2）設立の経緯

近年の天候不順や輸入農産物の増加、産地間競争の激化などにより市場価格が低迷、安定供給の困難に伴う栽培方法や栽培品目の改善が課題となってきました。そのような環境の中、平成14年6月「施設を利用し、生産性の向上と経営の安定化、減農薬栽培の促進」を目的とし、当会は設立されました。

（3）農薬散布軽減型パイプハウス

東京都の補助事業を利用し、研究会と関係機関が協力して考案した農薬散布軽減型ハウスを中心に、パイプハウスを387棟整備しました。このハウスは害虫の侵入を防ぐために入口に防虫ネットが張られています。作物の栽培期間中は、防虫ネットの開閉を少なくするために外から水やりができるよう工夫がされています。



農薬散布軽減型パイプハウス

(4) 部会を中心とした活動

「ハウレンソウ」「コマツナ」「カブ」「ミズナ」「ダイコン」「ホームページ運営」の6つの部会ごとに、品種比較試験や資材検討などを行い、生産技術力の向上に努めています。また、近年では東京都農林水産業技術交換大会（東京都農林水産振興財団主催）に毎年参加し、『カブの新たな商品開発と新商品普及に向けた取り組み』（カブ部会）、『夏期における葉付きサラダ大根の安定生産技術の確立及びブランド化に向けた取り組み』（大根部会）等の発表で、4年連続で最優秀賞を受賞するなど、毎年好成績を修めています。



東京都農林水産技術交換大会

(5) 情報の共有化による栽培技術の向上

会員はそれぞれ病害虫の早期発見、病気に強い品種の検討、防虫ネット利用によるトンネル栽培などを行い、農薬散布の低減を図っています。さらに、これらの情報は部会活動での勉強会、ホームページを通じて会員がお互いに共有し、安全安心な野菜作りに役立てています。

(6) 安全・安心・美味しいをお届けします

全会員が減農薬、減化学肥料に積極的に取り組んでいます。会員はこれまで、堆肥などを使った土づくりと化学肥料・化学農薬の使用を減らす事を同時に行う「東京都エコファーマー」を取得し、環境にやさしい農業を行ってきました。今後はこの「東京都エコ農産物認証制度」の取得を積極的に行い、安全・安心で美味しい清瀬の野菜のPRと、販売拡大につなげて行きたいと考えています。

4 連絡先

(1) 電話番号 042-491-4500（JA東京みらい清瀬支店）



品種の比較検討会



清瀬の野菜で作った宝船